

## スーパーボルケーノ - 西日本防災システム

情報元 CNN

みなさんよくご存知の間欠泉が吹き上がり、地熱で温められた青緑色の温泉が湧き出るワイオミング州イエローストーン国立公園

の地底には、米国の広い範囲に甚大な被害をもたらし、地球全体を変えてしまうほどの威力を秘めた超巨大火山スーパーボルケーノが眠っているんだそうです。その話題を少し！

私達はまだ、その噴火の規模を体験したことはないのですが、イエローストーンのスーパースーパーボルケーノが最初に噴火したのは210万年前だそうです。その規模は、1980年に57人の死者を出した米セントヘレンズ火山噴火の少なくとも2万5000倍だったとされ

るそうです。さらに130万年前と64万年前にも別の2つのスーパーボルケーノが超巨大噴火を起こしたようです。スーパーボルケーノは普通の火山のように円錐形の山の山頂に噴火口があるのではなく、以前の巨大噴火で地面が吹き飛ばされてできたカル

デラと呼ばれる広大な窪地で形成されています。ユタ大学イエローストーン火山観測所のボブ・スミス所長は、活火山が集中する地形を表現する言葉としては、スーパーボルケーノよりも「ホットスポット」と呼ぶ方がふさわしいと解説しています。ハワイやアイス

ランドにも同様のホットスポットが存在していますが、海底ではなく地底にホットスポットが存在するのはイエローストーンだけだそうです。益々心配ですね！スミス氏らの観測によれば、イエローストーンは地表からわずか8Kmの地底に硬い岩とマグマのたまりが

あり、その下には57,000立方キロの非常に高温の岩体があって、イエローストーンの温泉や間欠泉を発生させているそうです。これがかつ噴火を起こせば、大惨事になるのは確実です。スミス氏の著書によれば、まず付近一帯を大地震が襲い、続いて超巨大

噴火が起きてイエローストーン国立公園は完全に消えてなくなり、噴火で生じる噴煙や溶岩は数百度に達して周辺のすべてを焼き尽くし、火山灰は米西部にまで到達し、ジェット気流に乗って空の便を寸断し、世界の食糧供給が脅かされる可能性もあるそうです。

瞬時に8万7000人の死者を出すとの推計もあるそうですよ。考えたくない状況ですね！大変気掛かりなのは、次の噴火がいつ起きるかです。イエローストーンの過去3度の超巨大噴火は、約80万年？の間隔で発生しているそうです。つまり、次の噴

火が迫っているとの見方もできるんだそうです。スミス氏はまた、2004年に地面が隆起し始め、10年になって再び沈むという現象を

観測したそうです。まるでスーパーボルケーノが呼吸しているようだったと言っています。ただし、地震などの観測や世界各地の実例などからおおまかな予測はできるし、慌てる必要はまったくないとも博士は言っています。現時点ではそれよりも、地震や小規模の噴火が起こる可能性の方が大きく、そちらの方が懸念されるとしています。どちらにしましても気がかりですね。物騒な話題でした！



西日本防災システム  
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd  
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 